

■ランプについて

- LED光源寿命（光束維持時間）は、40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- ランプの短寿命の恐れがあるため、直接日光が当たる時間帯は点灯しないでください。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

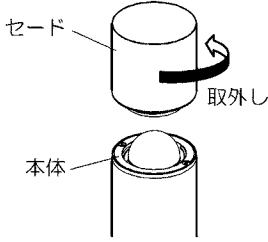
2 セードを取外す
セードを矢印方向に回して、本体より取外す。
※無理な力は加えないでください。

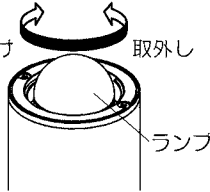
3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける
ランプの取付けは丁寧に、確実にこなしてください。
落下によるけがの原因になります。
※白熱ランプは使用できません。

5 セードを取付ける
■施工手順6を参考にセードを取付ける。

6 使用済みのランプは必ず市区町村の指示に従い、処理してください。





■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。
＜保証について＞ 1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。 3. グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合 (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7) 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。		＜アフターサービスについて＞ 1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。 従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。 ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。
保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 LED電源/モジュール/LED電球:3年間		取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
お買上年月日		
お客様様	お名前	
	ご住所	
	電話 ()	

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番 AU51320・AU51321・AU51322

お客様へ

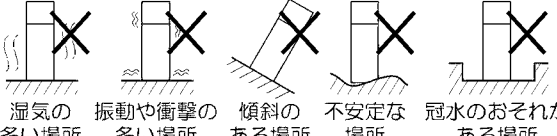
器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
⚠ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実にこなしてください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。	🚫 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
🚫 禁止	この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	🚫 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
	この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。 →早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障の原因になります。	🚫 禁止	器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。
	このような場所には取付けないでください。土壌のしっかりした場所に取付けてください。 →火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。	🔌 アース工事	アース端子(線)が付いている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。
⚠ 厳守	 湿気の多い場所 振動や衝撃の多い場所 傾斜のある場所 不安定な場所 冠水のおそれがある場所	⚠ 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
			異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
🚫 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。	🚫 禁止	ポール内に水がたまらないようにしてください。 →絶縁不良による感電および腐食によるポール折れの原因になります。
🚫 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。	⚠ 厳守	照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状況で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。 →放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
	ガス機器など、温度が高くなるものの近くへの取付けや、器具の近くにストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。		地中配線は、内線規程2400節地中電線路、JISC 3653電力用ケーブルの地中埋設の施工方法に従ってください。 →絶縁不良による感電・故障の原因になります。

■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AU51320・AU51321 AU51322	AC100V	0.08A	4.8W	LDA4L-H/S/4(E26)×1

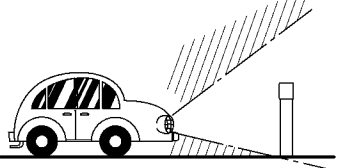
※センサ待機モードで消灯している場合、約0.2Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■施工前の確認

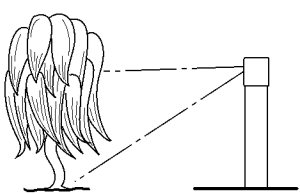
1 設置場所を確認する

- 不安定な場所、状態で使用しない。
- 積雪の期間は器具を取外すか、雪に埋もれないようにする。
漏電・故障・損傷の原因になります。
- 下図のような場所には取付けない。
誤動作の原因になります。

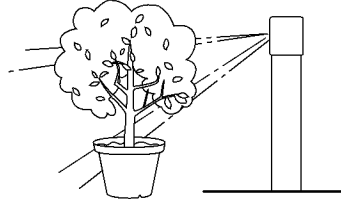
車のヘッドライトなど、強い光が直接あたる場所には取付けないでください。



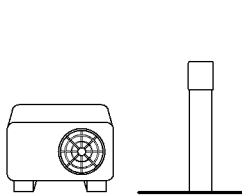
風などでよく振れる植物などがある場所には取付けないでください。



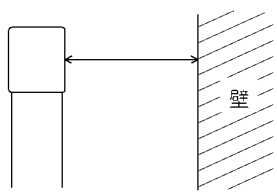
感知エリア内に障害物のある場所には取付けないでください。



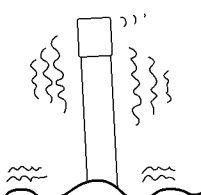
エアコンの室外機の近くには取付けないでください。



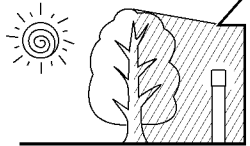
壁から1.5m以上離して取付けてください。



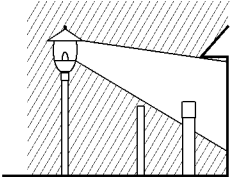
不安定な場所や振動の激しい場所には取付けないでください。



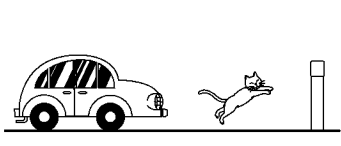
昼間でも暗い場所(木かげ・ひさしの下など)に取付けますと、早く点灯、遅く消灯することがあります。気象条件によりバラツキがあります。



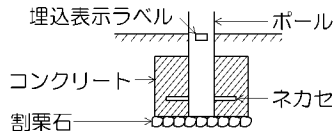
夜間でも明るい場所(隣地や他の照明があたる)への取付けはできません。点灯しないことがあります。



感知エリア内に車、小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。



- 無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。
- ポールは土壌のしっかりした場所に設置する。
※砂地などの土質の軟らかい場所に設置する場合は、コンクリートなどでポールの埋込部を固定してください。



2 器具と他の光源は1m以上離して取付ける
誤作動の原因になります。

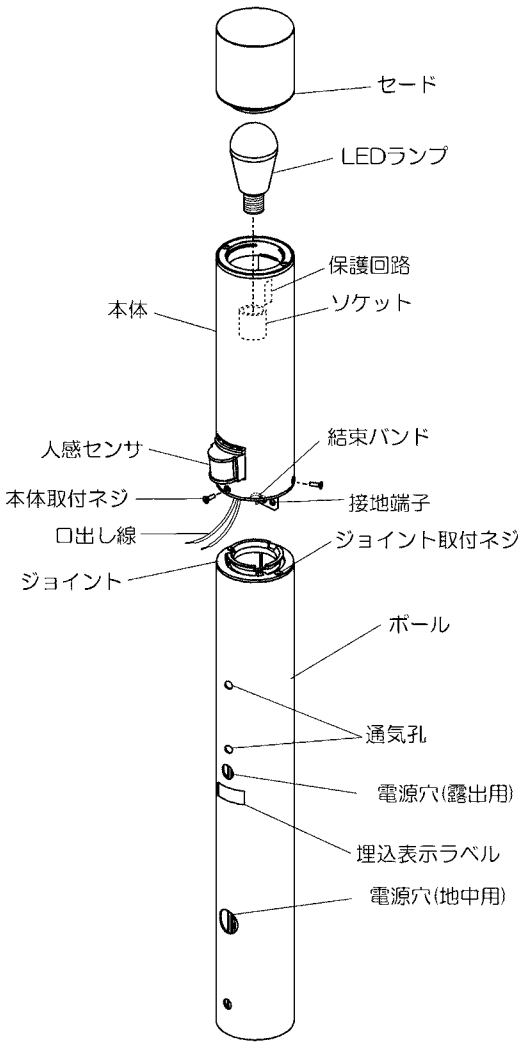
3 施工に関しては電気設備基準・内線規程に従って行なう

4 自動点滅器(デイトライトスイッチなど)との併用はしない
誤作動の原因になります。

5 壁スイッチを設ける
誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



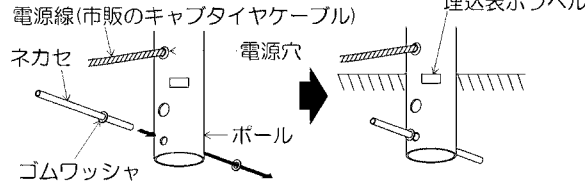
＜付属部品＞

- ネカセ・・・・・・・・・・ 1本
- ゴムワッシャ・・・・・・・・ 2枚

1 ポールを取付ける

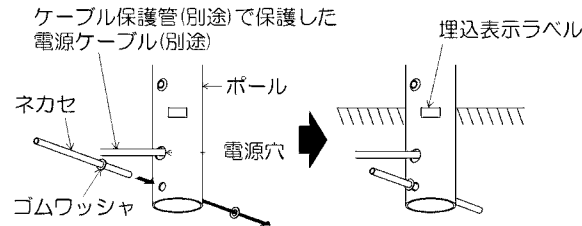
- ①電源線(市販のキャプタイヤケーブル)を電源穴からポールに通す。
- ②ネカセをポールに差し込んでゴムワッシャで止める。
- ③埋込表示ラベルがかくれるまで埋め込む。

＜露出配線をする場合＞



＜地中配線をする場合＞

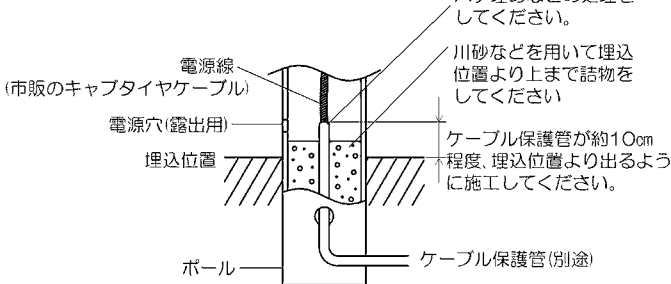
ケーブル保護管(別途)にパテ詰めなどの処理を行う。
電源線(市販のキャプタイヤケーブル)の長さはポールの長さよりも20cm程長くしておいてください。



※ケーブル保護管(別途)は
PF管呼び14：JIS C 8411をご使用ください。

2 ポール下部の湿気対策を行なう

(下図にその一例を示します。)



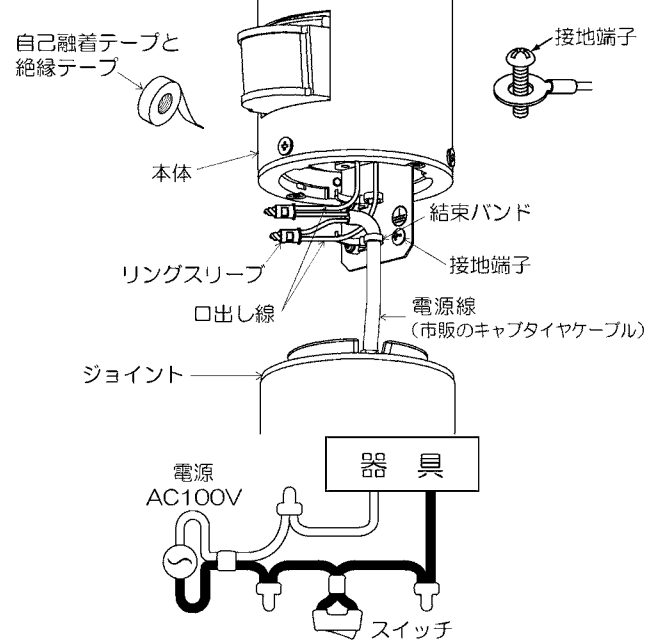
3 電源線を接続する

結束バンドで電源線を本体に固定する。
電源線と口出し線を実際に接続し、防水および絶縁処理を行なう。
電源線を引出しづらい場合は、ジョイント取付ネジをゆるめ、ジョイントをはずしてから電源線を引出してください。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

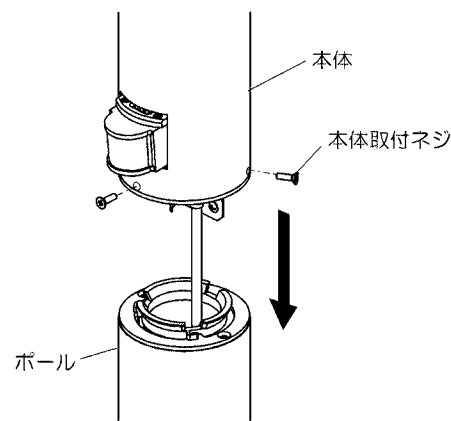
△警告 電源の接続および絶縁を確実に行ってください。

接続が不完全な場合は火災の原因になります。
電源接続をする際は壁スイッチを必ず設ける。
注)スイッチは同梱されていませんので別途ご用意ください。



4 本体を取付ける

本体をポールに合わせ、本体取付ネジで取付ける。



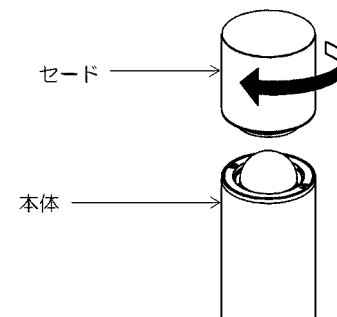
5 ランプを取付ける

適合ランプ以外を取付けた場合、器具の保護回路が作動して消灯します。その後、温度が25℃になると再点灯しますが、点灯・消灯を繰り返します。適合ランプに交換してください。

6 セードを取付ける

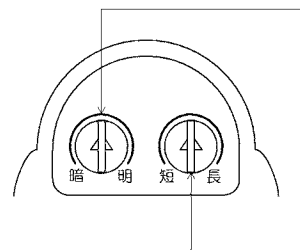
セードを本体に合わせ、矢印方向に回して取付ける。

※無理な力は加えないでください。



7 点灯の確認を行なう

■センサの内容



スイッチ	スイッチ位置	設定内容
	点灯照度設定 ツマミ	左に回すと低い照度で点灯 右に回すと高い照度で点灯 右いっぱい回すと明るさに関係なく点灯
	点灯時間設定 ツマミ	左に回すと最短期間30秒 右に回すと最長期間180秒

※点灯中に再び感知すると、点灯時間は更新されます。

■感知エリアの設定

右図のように点灯照度設定ツマミを右いっぱい回し、点灯時間設定ツマミを左いっぱい回して、センサの動作確認と感知エリアの確認を行ってください。

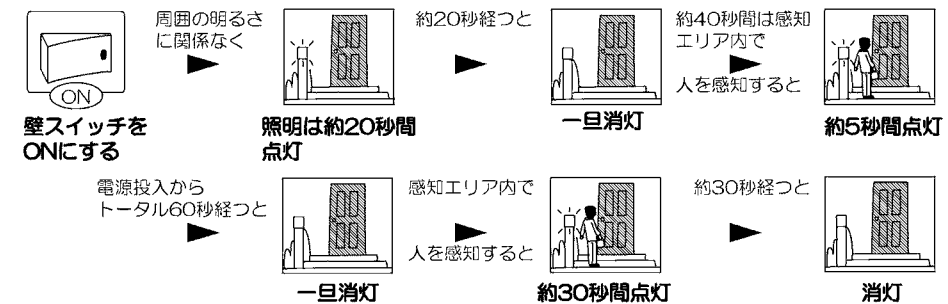
点灯照度設定ツマミ

点灯時間設定ツマミ



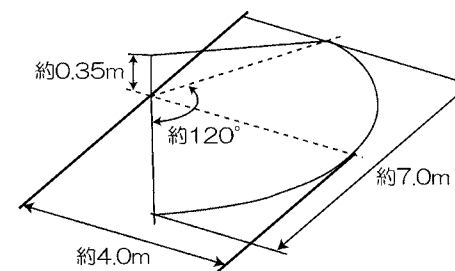
① 電源投入後、約20秒間点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感知することに約5秒間点灯します。
電源投入から約60秒後に一旦消灯し、設定したモードになります。
結線および負荷の動作を確認できます。

② 明るい時(昼間)でも人を感知する毎に約30秒間点灯します。
感知エリアを歩き、エリアの確認を行ってください。

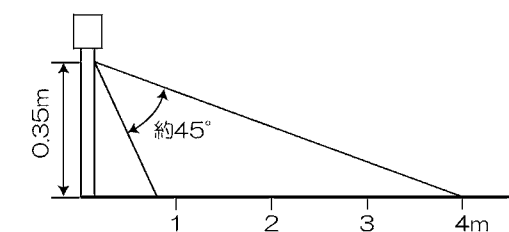


※感知エリアはセードの形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。

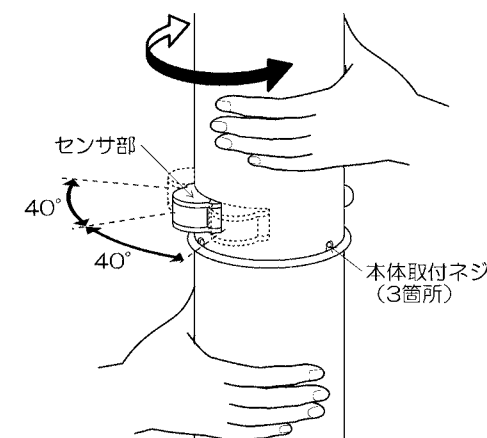
●水平方向＜左右約7.0m＞



●垂直方向＜高さ0.35m＞



●センサを動かして感知エリアを調整できます。
※センサに向かっての動作では感知しにくい場合があります。(約半分の距離になります。)



センサ部は中心から左右に40°ずつ可動します。
センサの感知範囲の設定方法は、本体取付ネジをゆるめて左右方向に角度設定をしてください。
設定後はしっかりと固定してください。

※調整範囲以上無理に動かさないでください。

※エリア確認後は必ず点灯照度設定ツマミを左方向に回し、点灯時間設定ツマミを右方向に回してください。
(点灯回数が多い場所では点灯時間設定ツマミを右いっぱい回してください。)

■センサの設定

ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで点灯照度と点灯時間を設定してください

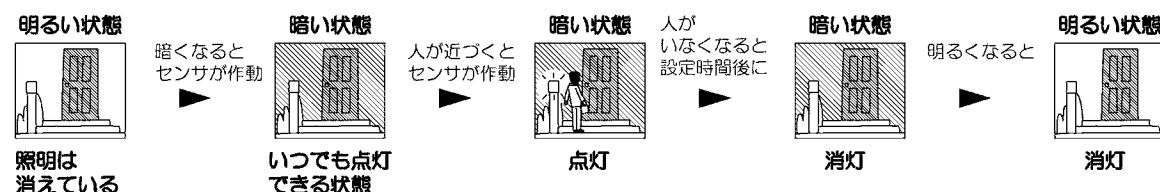
●センサの動作について

<センサ待機モード>

暗い状態で、人が近づくとセンサが感知して点灯します。

※電源投入後、約20秒間点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感知することに約5秒間点灯します。電源投入から約60秒後に一旦消灯し設定したモードになります。

●オン/オフモード(必要な時だけ点灯で省エネ)



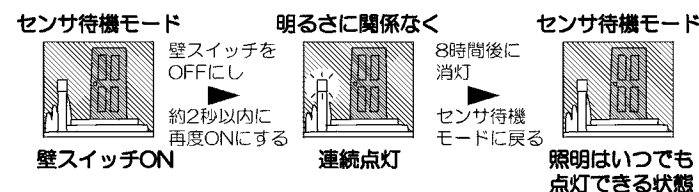
※設定後、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

■その他の設定

●壁スイッチの操作で8時間連続点灯ができます。

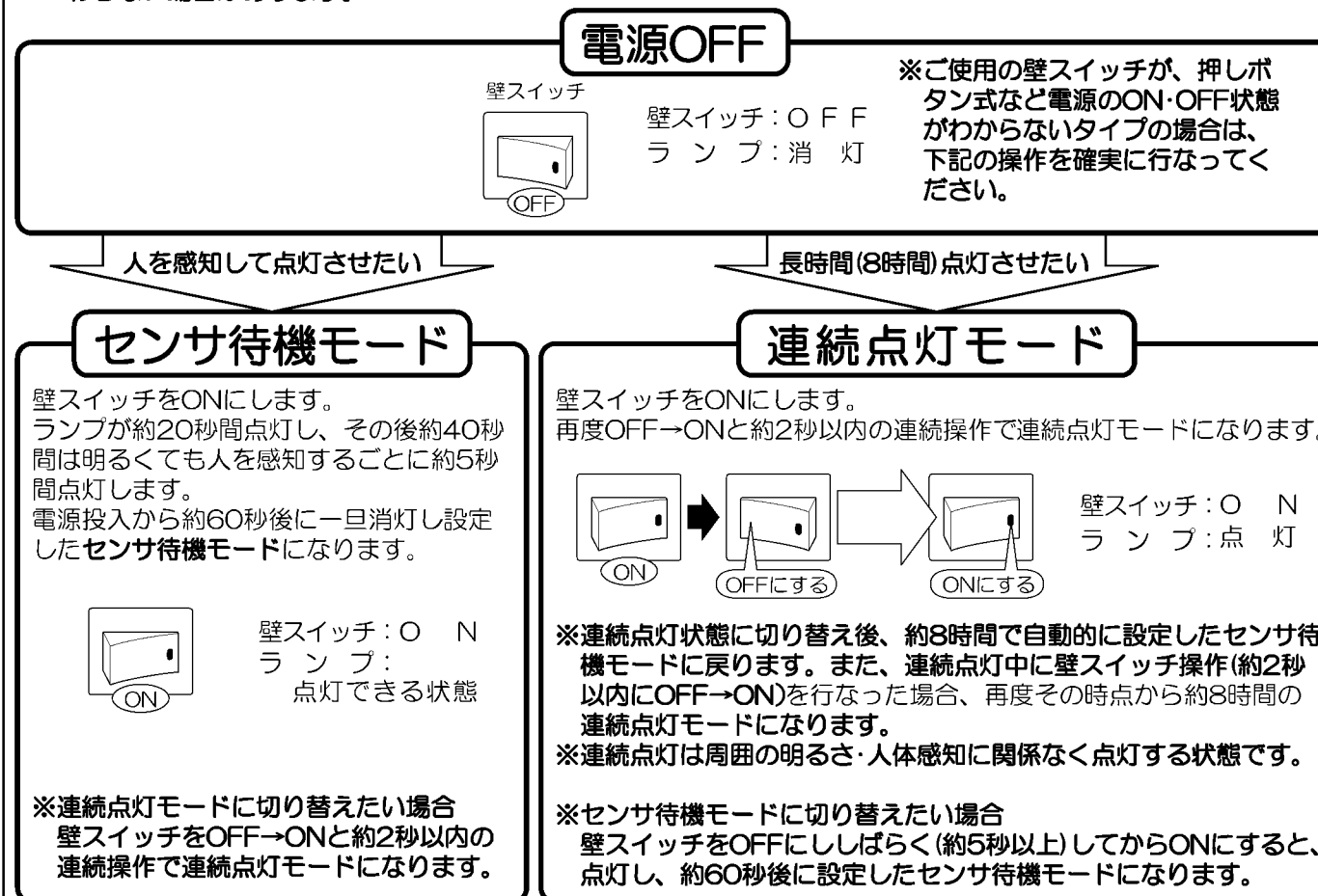
<連続点灯モード>

周囲の明るさや人体感知に関係なく連続点灯します。



■モードの切り替えを壁スイッチで操作する (プルレス操作)

- この器具は、センサ待機モードと連続点灯モードを壁スイッチを使用して設定できます。
- ※この器具を使用される場合は、必ず壁スイッチを取付けてご使用ください。壁スイッチを使用しないと誤作動のリセットおよびモードの切り替えができません。
- ※1つの壁スイッチで2台以上のセンサ器具をプルレス操作すると連続点灯モードに切り替わらない場合があります。



<電源OFF時に表示灯が点灯するタイプの場合>

壁スイッチの使用は2個(3路配線)までとしてください。3個(4路配線)以上使用されますとプルレス動作が正常にはたらかない場合があります。壁スイッチを3個以上使用される場合は電源OFF時に表示灯が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。

<電源ON時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合>

壁スイッチがONの状態でも、器具のランプが消灯している時は、スイッチのランプは点灯しません。

<押しボタン式など、電源のON・OFF状態がわからないタイプのスイッチを使用する場合>

スイッチを1回押しても点灯しない場合は、5秒以上過ぎてから再度押してください。

❗ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とリモコン受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に、器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 周囲環境によって、セード内側に結露が生じる場合がありますが、一時的なもので異常ではありません。
- 点滅を頻繁に繰り返すとランプの寿命が短くなります。点灯時間設定ツマミを右いっぱい回すことをおすすめします。